

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みに際しては、「商品概要」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

## この商品は第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

### 1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ダブル・フロンティア終身（円建／米ドル建／豪ドル建） 積立利率変動型定額部分付変額終身保険（15） 積立利率変動型定額部分付変額終身保険（通貨指定型）
組成会社（引受保険会社）	第一フロンティア生命保険株式会社
販売委託元	
金融商品の目的・機能	<b>【目的】</b> 大切な資産を、「定額部分」で一時払保険料（指定通貨建）と同額以上の死亡保障を確保しつつ、「変額部分」でさらなる運用成果の上乗せをめざしながら、将来の資産形成ができる変額終身保険です。 <b>【機能】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>指定通貨を、米ドル、豪ドルまたは円より選択いただけます。</li><li>一時払保険料は、「定額部分」と「変額部分」に分けて運用します。 定額部分・・・主に「債券」で運用し、積立利率で確実にふやします。 変額部分・・・主に「投資信託」で運用し、積極的に収益の獲得をめざします。</li><li>第1保険期間満了日には、「定額部分」のみで一時払保険料以上を指定通貨建で保証します。</li><li>第1保険期間満了日に、一括・年金受取か、一生涯の死亡保障の確保かを選択いただけます。</li><li>解約返還金額の円換算の目標値を設定できます。目標値に到達した場合には自動的に円貨で運用成果を確保します。</li><li>第1保険期間中の死亡保険金額は、一時払保険料（指定通貨建）以上となります。</li></ul>
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、以下のご意向があるお客さまを念頭に組成しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>まとまった資産を、第1保険期間中に変額部分で運用成果の上乗せをめざしながら、死亡保障を確保したいお客さま</li><li>為替変動リスク（外貨建の場合）、投資リスク（変額部分）、金利変動リスク（定額部分）に伴う元本割れを許容できるお客さま</li></ul>
パッケージ化の有無	この商品は、変額保険と定額保険を組み合わせた商品ですが、同じ内容や機能を個別商品の購入により代替することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフの適用があります。ご契約の申込日または一時払保険料充当金を保険会社が受け取った日のいずれか遅い日から起算して8日以内であれば、書面または電磁的記録（第一フロンティア生命ホームページ）により可能です。

- （質問例）① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ （ターゲット型の商品の場合）目標達成しなかった場合について説明してほしい。

## 2. リスクと運用実績（本商品は、円建の元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<p><b>【為替変動リスク】</b>（外貨建の場合）</p> <p>死亡保険金額、解約返還金額などは、為替相場の変動による影響を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それらを円貨に換算した金額は、一時払保険料の円換算額を下回ることがあります。</li> <li>・為替レートの変動がなかった場合（契約時の為替レートと同じ）でも、為替手数料料分の負担が生じます。</li> </ul>																																																												
	<p><b>【投資リスク（第1保険期間の変額部分）】</b></p> <p>株式や債券、商品などで実質的に運用されるため、運用実績が積立金額、死亡保険金額、解約返還金額などの増減につながります。</p>																																																												
	<p><b>【金利変動リスク（定額部分）】</b></p> <p>解約返還金額は、市場金利の変動に応じた運用資産（債券など）の価値の変動を反映（市場価格調整）させます。一般的に市場金利が上昇すると債券価格は下落するため定額部分の価値は減少し、市場金利が低下すると債券価格は上昇するため定額部分の価値は増加し、解約返還金額が増減します。</p>																																																												
	<p><b>【解約時の元本割れリスク】</b></p> <p>解約返還金額は、指定通貨ベースでも一時払保険料を下回ることがあります。</p>																																																												
<p><b>【参考】</b> 為替レートの騰落率 （外貨建の場合）</p>	<p><b>【米ドル】</b> 最大値 30.4% 最小値▲5.5% 平均値 3.4% <b>【豪ドル】</b> 最大値 27.6% 最小値▲16.0% 平均値 1.5%</p> <p>* 2017年12月～2022年11月までの5年間の各月末における1年間の騰落率 * Bloomberg データをもとに作成</p>																																																												
<p><b>【参考】</b> 過去の運用実績 （変額部分）</p>	<p><b>【特別勘定の基準価額の騰落率】</b> （前提） 設定日:2015年7月1日、基準日:2022年11月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">米ドル建</th> <th colspan="6">騰落率</th> </tr> <tr> <th>1ヵ月</th> <th>3ヵ月</th> <th>6ヵ月</th> <th>1年</th> <th>3年</th> <th>設定来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3.40%</td> <td>▲6.78%</td> <td>▲23.91%</td> <td>▲15.96%</td> <td>5.71%</td> <td>7.29%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* この特別勘定は米ドル建のため、騰落率も米ドルベースにより表示しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">豪ドル建</th> <th colspan="6">騰落率</th> </tr> <tr> <th>1ヵ月</th> <th>3ヵ月</th> <th>6ヵ月</th> <th>1年</th> <th>3年</th> <th>設定来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1.95%</td> <td>▲8.82%</td> <td>▲24.32%</td> <td>▲17.19%</td> <td>▲5.09%</td> <td>▲5.83%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* この特別勘定は豪ドル建のため、騰落率も豪ドルベースにより表示しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">円建</th> <th colspan="6">騰落率</th> </tr> <tr> <th>1ヵ月</th> <th>3ヵ月</th> <th>6ヵ月</th> <th>1年</th> <th>3年</th> <th>設定来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1.64%</td> <td>▲7.30%</td> <td>▲25.45%</td> <td>▲17.02%</td> <td>3.13%</td> <td>4.31%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* この特別勘定は円建のため、騰落率も円ベースにより表示しています。</p> <p>* 上記は、過去の一時点の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。</p> <p>直近の実績は、第一フロンティア生命ホームページの運用レポートをご参照ください。 （URL） <a href="https://www.d-frontier-life.co.jp/customer/fund/index.html">https://www.d-frontier-life.co.jp/customer/fund/index.html</a></p> <p>* 該当する商品名または代理店名を選択してください。</p> 	米ドル建	騰落率						1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来		3.40%	▲6.78%	▲23.91%	▲15.96%	5.71%	7.29%	豪ドル建	騰落率						1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来		1.95%	▲8.82%	▲24.32%	▲17.19%	▲5.09%	▲5.83%	円建	騰落率						1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来		1.64%	▲7.30%	▲25.45%	▲17.02%	3.13%	4.31%
米ドル建	騰落率																																																												
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来																																																							
	3.40%	▲6.78%	▲23.91%	▲15.96%	5.71%	7.29%																																																							
豪ドル建	騰落率																																																												
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来																																																							
	1.95%	▲8.82%	▲24.32%	▲17.19%	▲5.09%	▲5.83%																																																							
円建	騰落率																																																												
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来																																																							
	1.64%	▲7.30%	▲25.45%	▲17.02%	3.13%	4.31%																																																							
<p><b>【参考】</b> 解約返還金推移（率）</p>	<p>「設計書」をご確認ください。</p>																																																												

\* 損失が生じるリスクの内容について詳しくは、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）兼 商品パンフレット」の注意喚起情報「第1保険期間の変額部分の投資リスクについて」「解約・減額する場合のリスクについて」「為替リスクについて」に記載しています。

- （質問例）
- ④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
  - ⑤ この商品は元本が保証されているか説明してほしい。
  - ⑥ 為替レートの変動と損失がどのように関係するのか説明してほしい。
  - ⑦ 運用実績の増減（変額部分）と損失がどのように関係するのか説明してほしい。
  - ⑧ 金利の変動（定額部分）と損失がどのように関係するのか説明してほしい。
  - ⑨ 過去の運用実績ではなく、保険商品としての機能やメリット（デメリット）について説明してほしい。

### 3. 費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

<p><b>購入時に支払う費用</b> (販売手数料など)</p>	<p><b>【保険期間中にかかる費用】</b></p> <p>①第1 保険期間中の変額部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険契約関係費…特別勘定の資産総額に対して年率2.35%</li> <li>・ 資産運用関係費…信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率0.22%（税込）</li> </ul> <p>* 記載の信託報酬は2023年2月現在の数値であり、将来変更される場合があります。</p> <p>* 上記の信託報酬のほか、金融派生商品の取引に関わる費用、監査費用、信託事務の諸費用および消費税などを間接的にご負担いただきます。これらの費用は、費用発生前に金額や割合を確定することが困難なため、事前に表示することができません（ただし、金融派生商品の取引に関わる費用のうち参照指数の組成・維持およびレバレッジ取引等にかかる費用は、参照指数の算出に際し、金融派生商品の投資元本を最大約10倍にふやした実質運用資産に対して年率0.35%以内です）。</p> <p>②第1 保険期間中の定額部分</p> <p>積立利率の計算にあたって、ご契約の締結・維持などに必要な費用および死亡保険金を支払うための費用の率をあらかじめ差し引いております。</p> <p>③第2 保険期間中</p> <p>第2 保険期間中の積立金から死亡保険金を支払うための費用を控除します。</p> <p>* 上記の費用は、第2保険期間移行日の年齢、性別、経過期間などによって異なるため、具体的な数値や計算方法は表示しておりません。</p> <p>また、積立利率の計算にあたって、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金を支払うための費用の率をあらかじめ差し引いております。</p>
<p><b>継続的に支払う費用</b> (信託報酬など)</p>	
<p><b>運用成果に応じた費用</b> (成功報酬など)</p>	<p>ありません。</p>

\* 上記以外に生じる費用を含めてくわしくは、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報） 兼 商品パンフレット」の注意喚起情報「お客さまに負担していただく諸費用」に記載しています。

(質問例) ⑩ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- ・ 解約はいつでも可能です。
- ・ 第1 保険期間中に解約する場合、解約控除（第1 保険期間別に契約日からの経過年数に応じて、基本保険金額に対し、外貨建の場合 6.5%～0.0%・円建の場合 3.5%～0.1%）や、運用実績の増減（変額部分）、市場金利の変動（定額部分）の影響により、解約返還金額は指定通貨ベースでも一時払保険料を下回ることがあります。
- ・ （外貨建の場合）解約返還金を円で受け取る場合、為替レートの変動の影響を受けるため、一時払保険料の円換算額を下回ることがあります。

\* くわしくは、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報） 兼 商品パンフレット」の契約概要「解約返還金額について」に記載しています。

(質問例) ⑪ 私がこの商品を解約した場合、解約控除、運用実績の増減、市場金利の変動、為替レートの変動が解約返還金にどのように影響するのか説明してほしい。

## 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまにこの商品を販売した場合、当社は、販売時のコンサルティングや契約後の維持管理業務等の対価として、この商品の組成会社である第一フロンティア生命から以下の手数料をいただきます。

### 【米ドル建・豪ドル建】

- 契約時手数料 : 一時払保険料に対して、4.00%または 2.60%  
継続手数料 : 積立金額に対して、年率 0.75%または 0.10% (支払期間最長7年)

### 【円 建】

- 契約時手数料 : 一時払保険料に対して、1.85%または 0.30%  
継続手数料 : 積立金額に対して、年率 0.05% (支払期間最長7年)

当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。

当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

\* 手数料について詳しくは、「商品概要」に記載しています。

\* 利益相反の内容とその対応方針については、当社ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の「④利益相反の適切な管理」をご参照ください。

(URL) <https://www.smbcnikko.co.jp/customer/index.html>



<金融機関代理店さまにて記載いただく項目> 販売会社が公表する取組方針の URL を記載

(質問例) ② あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

## 6. 租税の概要 (NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください)

- ・ 一時払保険料 : 一般の生命保険料控除の対象となります。
- ・ 死亡保険金 : ご契約者と被保険者が同一人の場合、相続税の対象となります。
- ・ 解約返還金 : 解約返還金額から一時払保険料を差し引いた金額が、「所得税 (一時所得) + 住民税」の対象となります。

\* NISA、iDeCo の対象とはなりません。

\* くわしくは、「契約締結前交付書面 (契約概要/注意喚起情報) 兼 商品パンフレット」の注意喚起情報「税務のお取扱い」に記載しています。

\* ここに記載の税務のお取扱いは 2024 年 1 月現在のもので、法令改正などにより税務のお取扱いが変更となった場合には、変更後の内容が適用されますのでご注意ください。また、個別のお取扱いについては、税理士などの専門家または所轄の税務署にご確認のうえ、ご自身の責任においてご判断ください。

## 7. その他参考情報 (契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください)

第一フロンティア生命が作成した「契約締結前交付書面 (契約概要/注意喚起情報) 兼 商品パンフレット」

(URL) <https://www.d-frontier-life.co.jp/products/index.html>

\* 該当する商品および金融機関代理店を選択してください。

